

東京や大阪のベンチャー企業が次々とサテライトオフィスを開設し、若者の移住者が増え、おしゃれなお店もオープンする四国の右下にある小さな町。今、美波町が地方創生の先進地として全国からの熱い視線を集めていることをご存じですか？この動きをさらに広げるために定められたのが、「美波ふるさと創造戦略」。

「美波 地方創生だより」では、「それ何？」「どうして？どうやって？」「今どうなってるの？」を追いかけ、毎月お届けしています。

「地方版IoT推進ラボ」に美波町が選定されました。

IoTとは、様々なモノに情報を読み取るセンサーが付き、ネットワークを通じてその情報が利用される技術のことです。現在、IoTや人工知能等の最新技術によって、世界中の産業や社会の在り方が大きく変化しつつありますが、日本でも社会課題解決や経済成長のために、IoTビジネスモデルの創出が期待されています。

今回、地域のIoTプロジェクト創出・発展を目的とし、経済産業省等により選定される「地方版IoT推進ラボ」に、四国エリアでは高知県に次いで2か所目、徳島県内では初めて美波町が選定されました。

複数のIoT関連企業のサテライトオフィス進出もあり、IoTの利活用がスタートしている美波町。今回の「地方版IoT推進ラボ」の選定によりこの流れが加速されることが期待されます。

例えば、農地や農作物の状態をIoTにより常時監視することで効率化・省力化を可能にする農業、小さなセンサー群を身につけることで、僅かな体調変化も見逃さないヘルスケア。これらはIoTの技術、インターネットを活用して生まれたものです。IoTを活用したサービスが美波町を中心に進むことで、日本の他地域に先駆けて、生活が便利になることはもちろん、仕事が効率的にできたり、安心・安全がより高まった町になることを期待しています。



「門前町活性化プロジェクト始動！」

8月29日桜会館にて門前町活性化に向けた意見交換会が開かれました。

第1回目の今回は、本プロジェクトに参加する神奈川大学から紹介された他町の取り組み事例を参考にしながら、桜町商店街をどういった街並みにしていきたいか意見交換を行いました。平日の夜にも関わらず、多くの町民の方に参加いただき、活発な意見交換が行われるものとなりました。様々な意見が集まるからこそ生まれてくるアイデアもあり大変有意義な会になりました。町全体が一体となって、本プロジェクトを進めて行きたいものです。



■住宅やオフィスとして利用できそうな物件について、下記まで情報提供をお願いいたします。
役場総務企画課 ☎77-3611

■デュアルスクール制度を用いたお孫さんの里帰り、お問い合わせ下さい。
株式会社あわえ内デュアルスクール事務局 ☎70-5831